

令和3年度 事業所職員向けアンケート集計結果

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	・改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係が適切であるか	6			・必要に応じて、活動室の間仕切り用扉（シャッター）を閉めて少人数で活動できる部屋を作る事が可能。
	②	職員の配置数は適切であるか	3	3		・人員配置基準以上の職員を配置しているが、各学校の迎えの時間が重なった場合等、一時的に支援にあたる職員の人数が手薄になる曜日・時間帯がある。 ・男性保育士等の増員を図ることで、より同性介助への配慮や活動内容の幅を広げるといった点で、適切な支援体制の構築につながると感じる。
	③	事業所設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			・玄関、施設内等、全てバリアフリー化になっている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			・毎週、各種活動の詳細設定や反省、リスクマネジメントや個別支援計画(放課後等デイサービス計画)等に関する会議を開催し、全職員が参加している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			・保護者向けアンケートについては毎年、ガイドラインで示された様式の内容に加え、マ〜チの項目を追加した物で調査を実施している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			・法人ホームページに毎年公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか			6	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2		・新型コロナウイルスの感染拡大により、今年度も外部研修の機会は少なかったが、オンラインでの研修は出来るだけ参加した。 ・外部講師を招いての事業所内研修は出来なかったが、虐待防止やリスクマネジメントの研修をオンラインにて、全職員が受講した。

適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画(放課後等デイサービス計画)の作成にあたっては、課題点だけではなく、利用者本人の強み・成長した点に特に着目するようにし、サービス担当者会議等でアセスメントを行なっている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画作成ソフトを使用し、必要に応じて共通項目以外に追加項目を設けている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		<ul style="list-style-type: none"> 活動プログラムは担当者が月間予定案を出した後、職員全員で確認している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> 個別活動では、利用者個々に合わせた内容(ソーシャルスキルトレーニングや、手先を使う作業、身体を動かす運動等)を行なっている。 集団活動について、クッキングでは季節を感じるおやつを皆で作っている(新型コロナウイルス感染防止の観点から、現在は中止)。運動では他者と協力して行うレクリエーションや伝承遊び、音楽を使ってのリズム運動を行なっている。製作では短時間で難しくなく「できた」という達成感が得られるものを考え、行なっている。その他、表情(感情)を読み取るゲームや、音当てゲーム、簡単で楽しい実験遊び等、利用者の興味関心を持てるよう行なっている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> 平日は個別活動や全体活動を設定し行い、休日ではその活動に加えて、グループに別れた取り組みを行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> 今現在は個別活動と集団活動にわけた個別支援計画(放課後等デイサービス計画)とはなっていなかったが、令和4年度より、利用者全員の計画に個別活動と集団活動の内容を盛り込んでいく。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> 平日は、毎日その日の支援開始前に打ち合わせを行い確認している。 長期休暇や休日については、利用者の受け入れ対応により、全員が集まったの打ち合わせが難しいので、ホワイトボードなどを活用し、その日の役割を提示し、各職員が確認してから業務にあたるようにしている。ただし、必要な引継ぎ内容については、都度口頭で報告している。

適切な支援の提供	⑩⑥	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2		<ul style="list-style-type: none"> 支援終了後は、利用者の送迎対応や勤務体制上、職員全員が集まって打合せを行う時間が取れない為、翌日に前日の振り返りを行ない、情報の共有を図っている。 打合せや引継ぎの時間以外でも、各職員が日々の支援の中で気付いた利用者の本当に些細な変化や強み、成長などについて、都度、職員間で振り返りを行なっている。
	⑩⑦	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			<ul style="list-style-type: none"> 日々の支援や利用者の様子については、ケース記録ソフトに入力している。 各利用者について、どの点を記録するかという事を一覧にし、各職員が確認して記録をとっている。 利用者の困り感だけではなく、良い点も記録するように意識している。
	⑩⑧	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画(放課後等デイサービス計画)の見直しを行なっている。
	⑩⑨	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6			<ul style="list-style-type: none"> 一日のプログラムとして、個別活動と集団活動を組み合わせて計画している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑪⑩	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1		<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援管理責任者がサービス担当者会議に参加し、計画内容についても触れながら情報の共有、サービス等利用計画の作成への情報提供を行っている。 女性利用者の支援内容に排泄支援などが含まれているケースでは、女性職員も参画するなど配慮が必要。
	⑪⑪	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6			<ul style="list-style-type: none"> 学校との情報共有では、年度初めに利用者の在籍校に訪問し、その学校の児童生徒で利用されている方の一覧、マ〜チ職員（顔写真付き）一覧などをまとめた用紙を校長や教頭に渡し、その際学校の年間行事予定を頂き、送迎での注意事項、必要事項について連絡調整している。 利用者の様子について、学校との情報共有が必要な場合は、保護者の承諾を得た上で、情報共有をしている。
	⑪⑫	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			6	<ul style="list-style-type: none"> 現状、医療的ケアを必要とする子どもは利用していない。また、看護師などの医務職員が常駐しない事もあり、医療的ケアが必要な利用者の受け入れ体制は整っていない。
	⑪⑬	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	4	1	<ul style="list-style-type: none"> 就学のタイミングでの新規利用者はいなかったが、新規の利用があった場合には、関係する学校や相談支援事業所、他の放課後等デイサービス事業所等と情報共有を図っている。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	3	1	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の管理上、あくまでも保護者からの依頼に応じて情報提供している。
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			6	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援センター等の専門機関が近くにない為、助言を受ける機会を設ける事が困難。
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			6	<ul style="list-style-type: none"> 現在、放課後児童クラブや児童館との交流は行っていない。
	②7	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援協議会の構成メンバーはおらず、参加出来ていない。 市からの依頼により、地域ケア会議等への参加の機会はある。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方とは連絡帳を活用し情報を共有している。また、保護者からやマ〜チから気になる事があれば電話連絡や、面談を行うなどして対応している。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		2	4	<ul style="list-style-type: none"> 具体的なペアレントトレーニングの支援は行っていない。 マ〜チを利用している中で、特に利用者本人の強みや成長した点について着目し、日々の連絡帳や個別支援計画(放課後等デイサービス計画)説明時等、積極的に保護者に伝える機会を作っている。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			<ul style="list-style-type: none"> 利用者負担、運営規定については、契約時に説明している。支援内容については、個別支援計画(放課後等デイサービス計画)説明の面談時に説明している。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			<ul style="list-style-type: none"> 相談を受けた場合は必ず電話、面談により内容を確認し助言している。こちらからできる助言は行ない、より専門的な助言を求められた場合は関係機関に繋ぐように支援している。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			6	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルスの影響により、茶話会や家族参加行事等の保護者同士が集まる機会を設定する事が出来なかった。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1		<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査など、保護者などからより率直な要望、相談を挙げてもらえるように受付方法を工夫している。(匿名・郵送にて回収)。苦情への対応としては、受け付けた段階で管理者に報告の上、速やかに会議、苦情解決委員会を開催する。今後の対応等について、検討した内容を本人、保護者へ出来るだけ早く説明することを意識している。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> 毎月、広報誌を発行して、連絡事項や日々の活動について報告している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> 個人情報に関わるファイルなどは、施錠しているスタッフルームに保管し、関係者以外開けることが出来ない。 関係機関に個人情報を提供する際には、必ず保護者の同意を得るようにしている。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	3		<ul style="list-style-type: none"> 本人の特性に応じてスケジュール等の提示方法や、その他に絵や写真等を活用し、活動内容の説明を行っている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域にかかれた事業運営を図っているか		1	5	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルスの影響により開催出来なかった。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1		<ul style="list-style-type: none"> 今年度も新型コロナウイルスの感染予防対策について、広報誌等で保護者に周知した。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			<ul style="list-style-type: none"> 年度初めに避難訓練計画を作成している。月曜日から金曜日の各曜日で避難訓練を実施する事で、利用されている方全員が避難訓練を受けられるようにしている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			<ul style="list-style-type: none"> 今年度はオンラインでの虐待防止権利擁護研修会に1名が受講し、直近の職員会議にて、研修内容を職員に報告・周知した。 少人数でのグループに分かれて、虐待防止の研修を全職員が受講した。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> やむを得ず身体拘束を行う可能性のある利用者に関しては、個別支援計画(放課後等デイサービス計画)に対応について記載し、保護者に説明している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			<ul style="list-style-type: none"> 食物アレルギーのある利用者に関しては、保護者から検査結果のコピーをもらい、調理委託業者と情報共有の上、食事提供時にチェックする対応をしている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハット報告に関して、リスクマネジメント委員会で事例収集し、事故防止の検討と確認をしている。 早期に対策の必要があるリスクの高い事例に関しては、全職員で対策について検討し、安全なサービス提供に繋げている。